

日本一の商業高校をめざす！

～ソフト編～

山形市立商業高等学校

山商のめざすべき姿

県内商業教育の中核校として、かつ、全国の商業高校のリーディングスクールとして、質の高い教育を行う学校

山形市の発展のために、将来の山形市を担う“人財”を育成する学校

市民及び地元の産業界に元気と活力を与えられる学校

「社会に開かれた教育課程」を実現する学校

「社会に開かれた教育課程」の背景

我が国の喫緊の課題

急激な社会の変化にどう対応するか

情報化

グローバル化

人工知能（AI）の進化により、現在ある仕事（職業）の多くがなくなるのではないか。

現在学校で学んでいることは、時代が変化したら役に立たなくなるのではないか。

- 厳しい時代を乗り越え、未来を拓く力
- “答えのない課題”に対して、最善解を導くことができる力
- “鳥の目” “虫の目” “魚の目”を持った人材
 - ◎ 分野横断的に全体を俯瞰する力 (マクロ:鳥の目)
 - ◎ 物事を様々な角度から“複眼”的に深く掘り下げる力 (ミクロ:虫の目)
 - ◎ 時代の潮流を読み取る力 (トレンド:魚の目)

「社会に開かれた教育課程」とは

次期学習指導要領の基本的な方向性

これからの社会を創る生徒たちに、“未来の創り手となるため必要な資質・能力”を確実に身に付けさせることができる教育

学ぶことと社会のつながりを意識したカリキュラム(教育課程)をつくる

社会や世界の状況を視野に入れ、「よりよい社会を創る」という目標を社会と共有する教育課程

これからの社会を創る生徒たちに、社会や世界と向き合い、人生を切り拓くための資質・能力を育む教育課程

地域の人的・物的資源を活用するなど、目標の実現に向けて社会と連携する教育課程

「社会に開かれた教育課程」 → “よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る”ことを目指す

山商が目指す「社会に開かれた教育課程」

「山商のめざすべき姿」

- ・商業教育の中核校
- ・将来の山形市を担う人財の育成
- ・地域に元気と活力を与える学校

資質・能力(コンピテンシー)

地域社会・経済界の有識者と共に、
未来の山形市を担う有為な人材として
必要な資質・能力を策定

社会との連携・協働

社会人講師による講義など、地域の
人的・物的資源を活用する

社会とのつながりを意識したカリキュラム(教育課程)の編成

具体的な取組内容(予定含む)

- ◇産学連携 産業調査部と地元企業とのコラボ企画・事業等
- ◇社会人講師 情報モラル教育、主権者教育、税金教育、交通安全教育、山形学、金銭教育、環境教育ほか
- ◇高大連携 会津大学短期大学部との遠隔授業(情報教育)
- ◇高専連携 大原学園との連携(簿記会計教育、公務員講座ほか)

教育計画の基本方針

単科型専門高校として、商業教育を総合的に学習できる環境を整える。

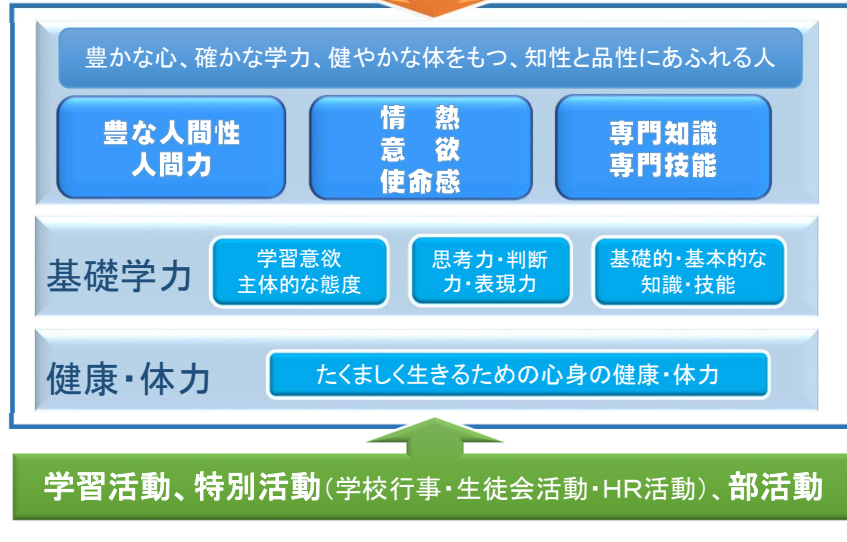
伝統や実績を踏まえるとともに、第4次産業革命及び新たな社会的要請への対応など、将来を見据えた教育内容とする。

多様な進路希望に対応したきめ細やかな学習指導を行うために、より多くの選択科目を設けるとともに少人数の授業を取り入れる。

上記を実現するために、単位制のシステムを導入する。

山形市を担う有為な人財として必要な資質・能力(コンピテンシー)

「郷土を誇りに思い いのちが輝く 人づくり」「輸誠」の精神

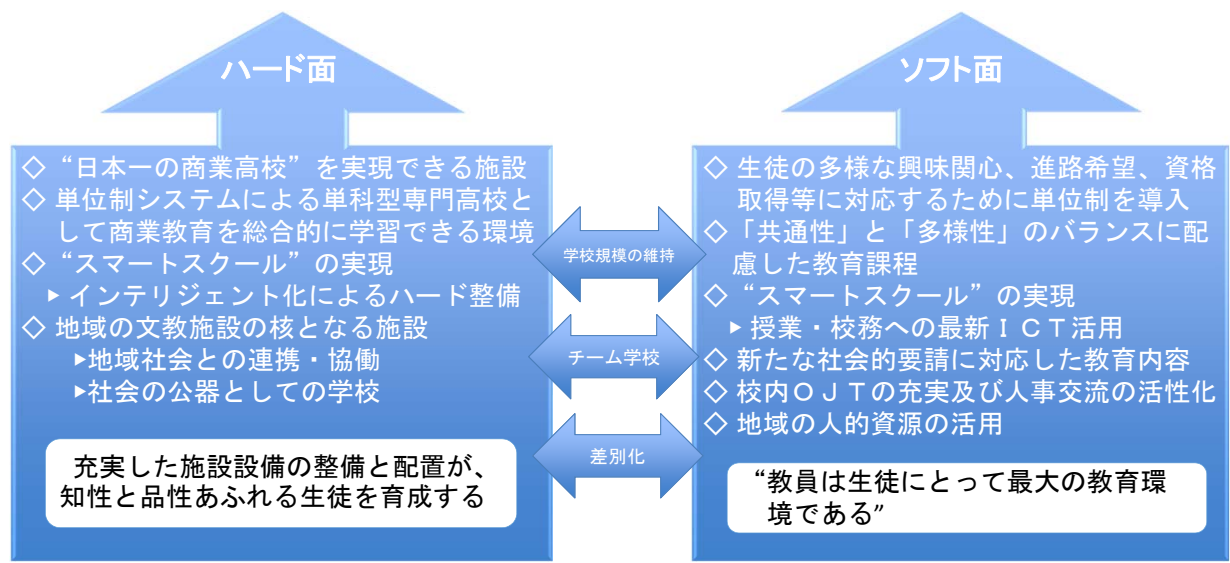


★“第4次産業革命”に対応できる人材の育成
 ・様々な情報を主体的に活用し、問題を解決したり、新たな価値を創造したりする能力
 ・情報活用能力の育成、情報の科学的な理解(プログラミング教育等)

- ◇アクション(前に踏み出す力)
 ・主体性 ・実行力
 ・働きかけ力
- ◇シンキング(考え抜く力)
 ・課題発見力
 ・計画力 ・創造力
- ◇チームワーク(チームで働く力)
 ・発信力 ・傾聴力
 ・柔軟性 ・状況把握力
 ・規律性
 ・ストレスコントロール力

協調性・応用力・対応力

“日本一の商業高校”を実現するための教育環境



“日本一の商業高校”のイメージ

進学も就職も高いレベルで実現し、地元定着率が高い（8割以上）高校

大学・専門学校等で通常取得する高いレベルの資格取得者が多数いる高校

全国の頂点を極める部活動があり、多数の部活動が全国で活躍している高校

日本一の挨拶とマナーを身につけ、地元住民から愛される高校

“日本一の商業高校”に向けた数値目標

国公立大・有名私大50名

地元就職率9割以上 公務員現役合格20名

全国大会出場15部（運動部10部、文化部5部）
全国大会優勝 オリンピアン輩出

地元定着率約8割

日商簿記1級及び情報
処理技術者試験合格

全商1級検定3種目以上
合格生徒数全国上位

皆勤者100名

令和2年3月卒の進路状況と部活動の現況

国公立・有名私大39名 地元就職率85.9%(61名) 公務員現役合格19名
国公立大6名(山形、新潟、富山、岡山、高崎経済) MARCH14名(明治6、立教3、中央4、法政1)
その他有名私大19名(國學院2、明治学院、獨協3、武蔵1、日大4、東洋1、駒沢2名、専修4、立命館AP1)

全国大会出場12部(運動部7部、文化部5部)

女子バレーボール部、陸上部、レスリング部、男子バドミントン部、男子ソフトテニス部、男子体操部、女子体操部、産業調査部、簿記部、珠算部、タイピング部、コンピュータ部(令和元年度)

産業調査部全国大会2連覇(H29-H30)

地元定着率約7割

日商簿記1級→秋受験
情報処理技術者試験

全商1級検定3種目以上
合格生徒数東北2位

皆勤者59名
(3年間)

学科構成の方向性

商業教育を総合的に学ぶことができる学科(4クラス想定)

- ・商業教育の体系的に学ぶことができる学科
- ・多様な進路を実現する類型(系列)の設置
- ・社会的要請に対応した幅広い選択科目群

高度な情報教育を学ぶことができる学科(1クラス想定)

- ・ICTを活用したビジネスに関する学習を重視する学科
- ・情報社会の進展、IT人材の需要増大に対応
- ・内陸地方の高等学校情報教育の中核を担う

大学等への接続を前提とした商業教育を行う学科(2クラス想定)

- ・文系大学への進学をめざす学科
- ・商業や英語の資格取得とともに語学教育を重視

